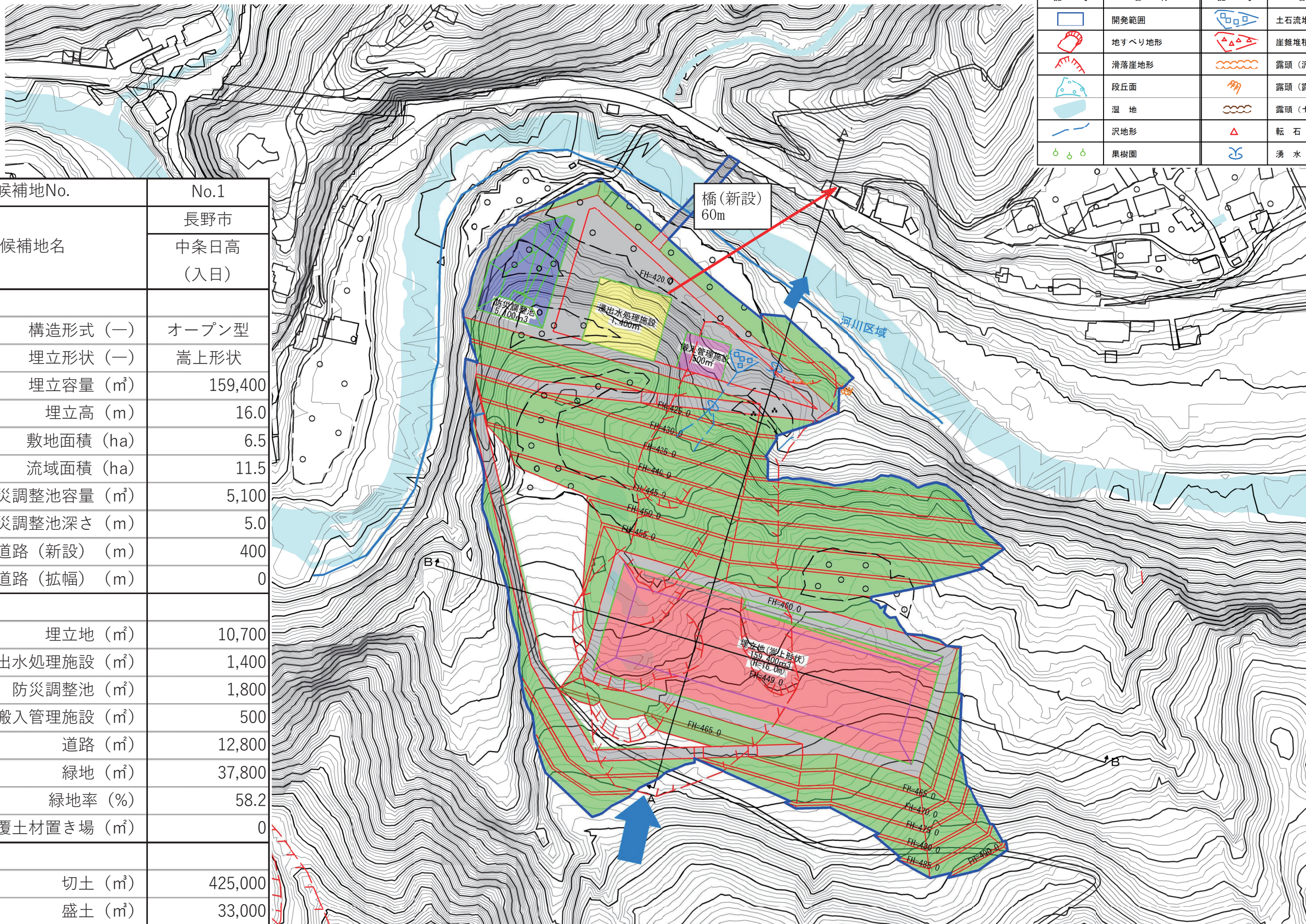


資料 3 : 候補地の施設構想図

施設構想図(長野市 中条日高：入日)

A1 S=1:1,000
A3 S=1:2,000



記号	名称	記号	名称
	開発範囲		土石流堆積物
	地すべり地形		崖壁堆積物
	滑落崖地形		露頭(沢底露岩部)
	段丘面		露頭(露岩部)
	湿地		露頭(十砂部)
	沢地形		転石
	果樹園		湧水

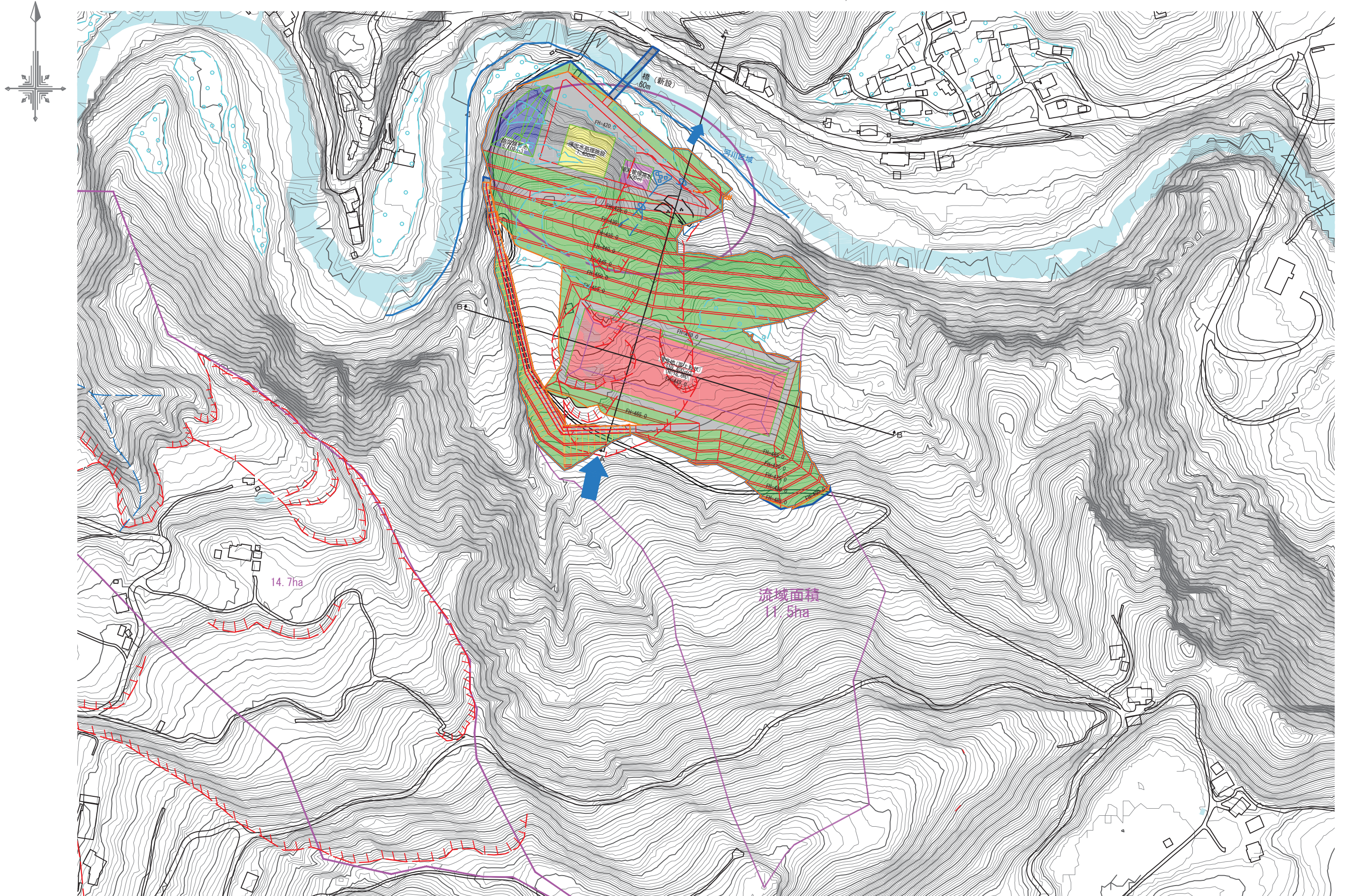
候補地No.	No.1
候補地名	長野市
	中条日高 (入日)
計画諸元	
構造形式(一)	オープン型
埋立形状(一)	嵩上形状
埋立容量(m³)	159,400
埋立高(m)	16.0
敷地面積(ha)	6.5
流域面積(ha)	11.5
防災調整池容量(m³)	5,100
防災調整池深さ(m)	5.0
搬入道路(新設)(m)	400
搬入道路(拡幅)(m)	0
面積諸元	
埋立地(m²)	10,700
浸出水処理施設(m²)	1,400
防災調整池(m²)	1,800
搬入管理施設(m²)	500
道路(m²)	12,800
緑地(m²)	37,800
緑地率(%)	58.2
覆土材置き場(m²)	0
土工量	
切土(m³)	425,000
盛土(m³)	33,000
残土*(m³)	388,300

*土の締固め率0.9とする

: 想定地下水流動方向 : 処理水の放流ルート(下水道放流)

流域図(長野市 中条日高：入日)

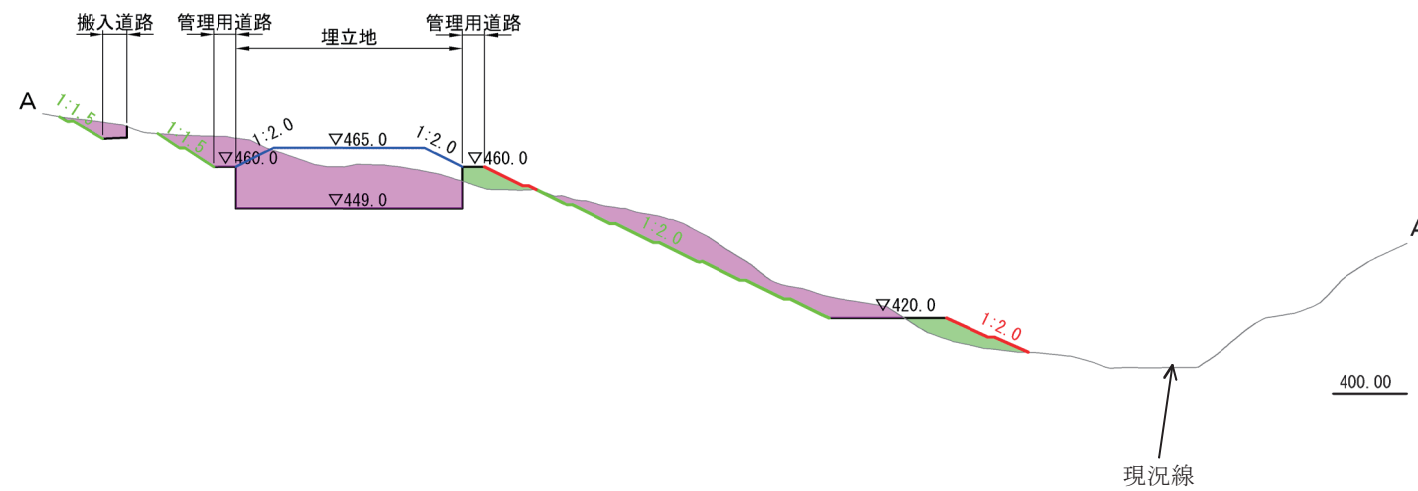
A1 S=1:1,500
A3 S=1:3,000



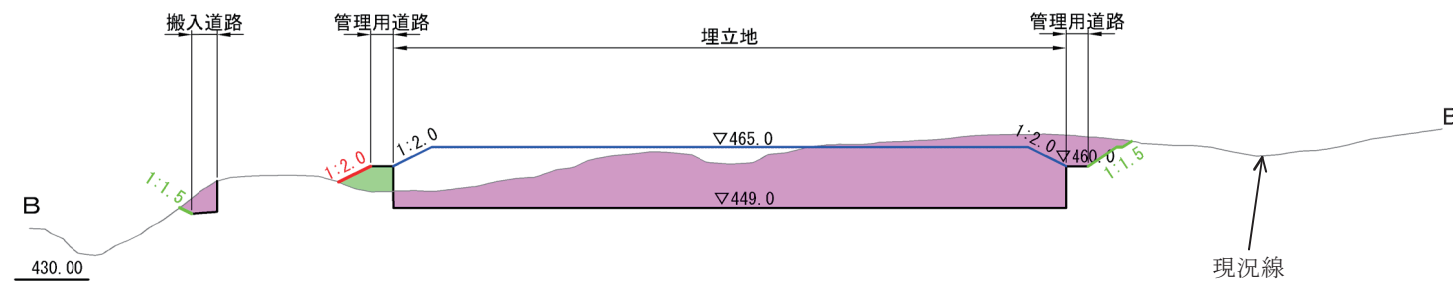
標準断面図(長野市 中条日高: 入日)

A1 S=1:1,000
A3 S=1:2,000

A—A' 断面図



B—B' 断面図



候補地の現況報告 (地形・地質・水文)

(長野市 中条日高 : 入日)

A1 S=1:1,500
A3 S=1:3,000



[P1] 候補地全景、施設基礎は段丘平坦面



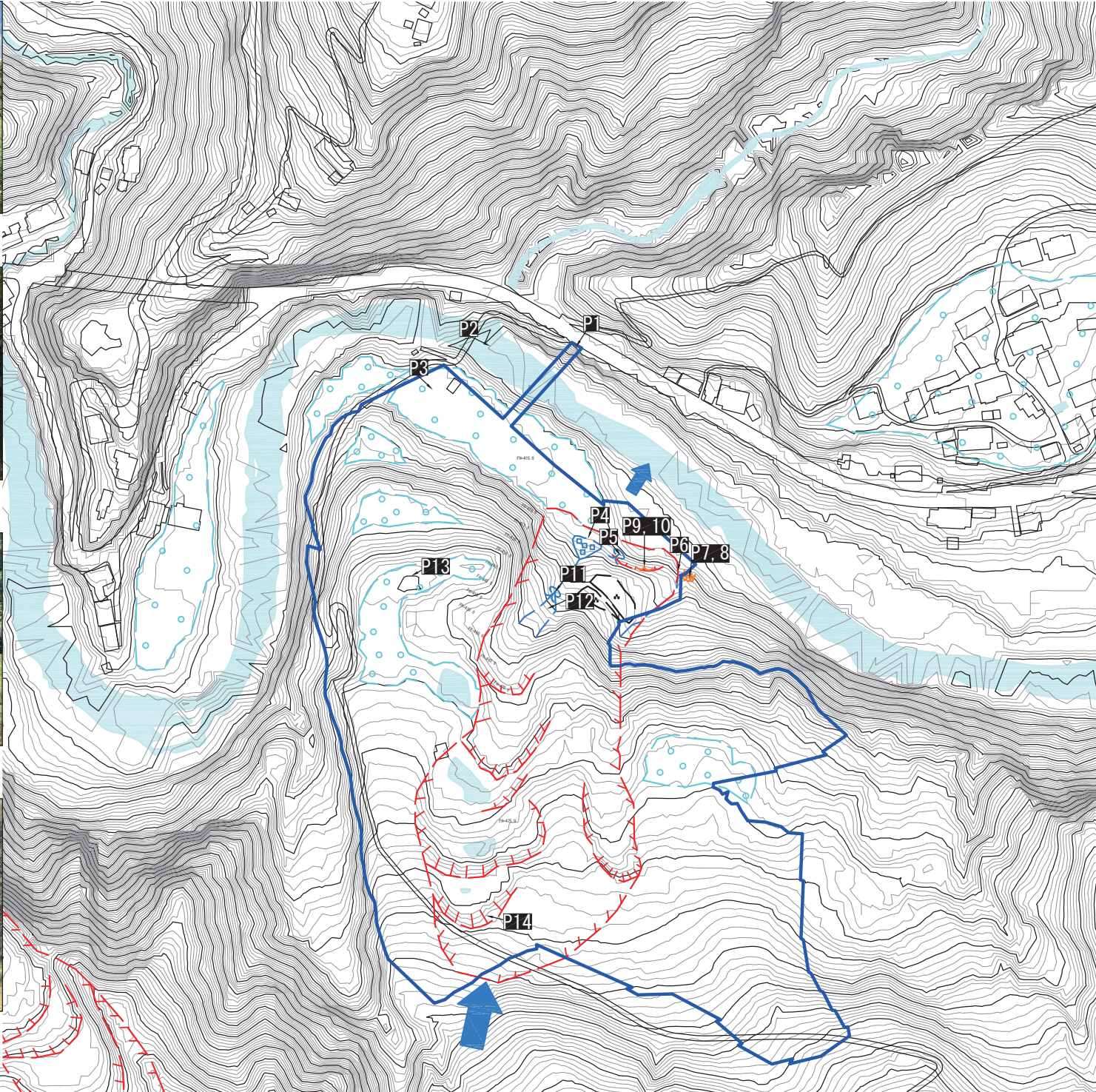
[P2] 土尻川、前日(7/12)の豪雨で増水し濁流となる、左岸のブロック擁壁は基礎洗堀により倒壊する



[P3] 施設基礎の段丘面、段丘面は水田、畑地として利用される



[P4] 中間崩壊谷地形の出口部、幅20m程、高さ約5m程の流出土砂の堆積が確認される、流水なし



[P5] 下流側斜面脚部は高さ2~4m、洗堀崩壊する



[P10] 下流斜面脚部の洗堀部に露出する砂岩でφ50~70mmの泥岩円礫を含む、傾斜30°程度、ハンマー打撃で濁音を発する程度の硬さ



[P6] 下流側の崩壊谷地形の出口部、流出土砂少なく、流水(流量10~20L/分)認められる、写真左側に礫岩が露出する



[P11] 中間崩壊谷地形の出口より数十m上流箇所、明瞭な流水ないものの取水施設跡あり、周辺に人工的な平坦部(耕作地跡)あり



[P7] 下流側の崩壊谷出口部に認められる礫岩、塊状で層理不明瞭



[P12] 中間崩壊谷地形の出口より数十m上流箇所、ガリー洗堀がみられ降雨時や融雪期には湧水があるものと想定される



[P8] 下流側の崩壊谷出口部に認められる礫岩、φ5~30mmの円礫で礫種は安山岩、凝灰岩、砂岩と雑多、基質は凝灰質砂



[P13] 計画施設の上端部付近に認められる平坦地、表層にはφ70~150mmの安山岩円礫が認められ、段丘平坦面と考えられる



[P9] 下流斜面脚部の洗堀部はやや凝灰質な砂岩が露出、塊状で層理不明瞭、ハンマーのピックが何と刺さる程度の硬さ



[P14] 計画施設の上方の滑落崖頭部周辺、裸地などはなく新たな変状なし、滑落崖直下の平坦部には帯水がみられ地下水位は高いものと想定される

記号	名称	記号	名称
	開発範囲		土石流堆積物
	地すべり地形		崖錐堆積物
	滑落崖地形		露頭 (沢底露岩部)
	段丘面		露頭 (露岩部)
	湿地		露頭 (土砂部)
	沢地形		転石
	果樹園		湧水

地区	評価項目	現地概要	現地写真
長野市 (入日)	地形	<ul style="list-style-type: none"> 計画施設底面付近は段丘平坦面で、対象緩斜面に複数認められる平坦部も段丘面(段丘礫あり)と考えられる 緩斜面中に認められる滑落崖地形は、最近の変動を示す変状(表層崩壊や裸地など)は確認されないが、空中写真判読から地すべり移動体の可能性が想定される 	P1、P3、P5、P11、P12、P14
	地質	<ul style="list-style-type: none"> 西側の沢出口周辺に新第三紀の堆積岩(礫岩、砂岩)が露出し、段丘堆積物の堆積は少ないものと想定される 沢出口の一部は土砂の流出(小規模な土石流堆積物)が認められる 	P4、P6、P7、P8、P9、P10、P13
	(地下水)	<ul style="list-style-type: none"> 計画施設の上となる標高465m付近の滑落崖直下の平坦部に湿地が認められ、地下水位が非常に高いことが想定される 計画施設底面の段丘平坦面は水田として利用される 	P4、P6、P12、P14
	留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 複数の滑落崖は地すべり移動体の可能性が想定されるため、詳細な調査が必要となる 西向き斜面開削時は流れ盤となるため、安定勾配に留意が必要となる 滑落崖直下付近には湿地が確認され、地下水位が高いことが想定されるため地下水処理に留意する必要がある 	

: 写真位置・番号、撮影方向

: 想定地下水流動方向

地形・地質 現地踏査結果図 (長野市 中条日高 : 入日)

候補地の現況報告（動植物） 中条日高：入日



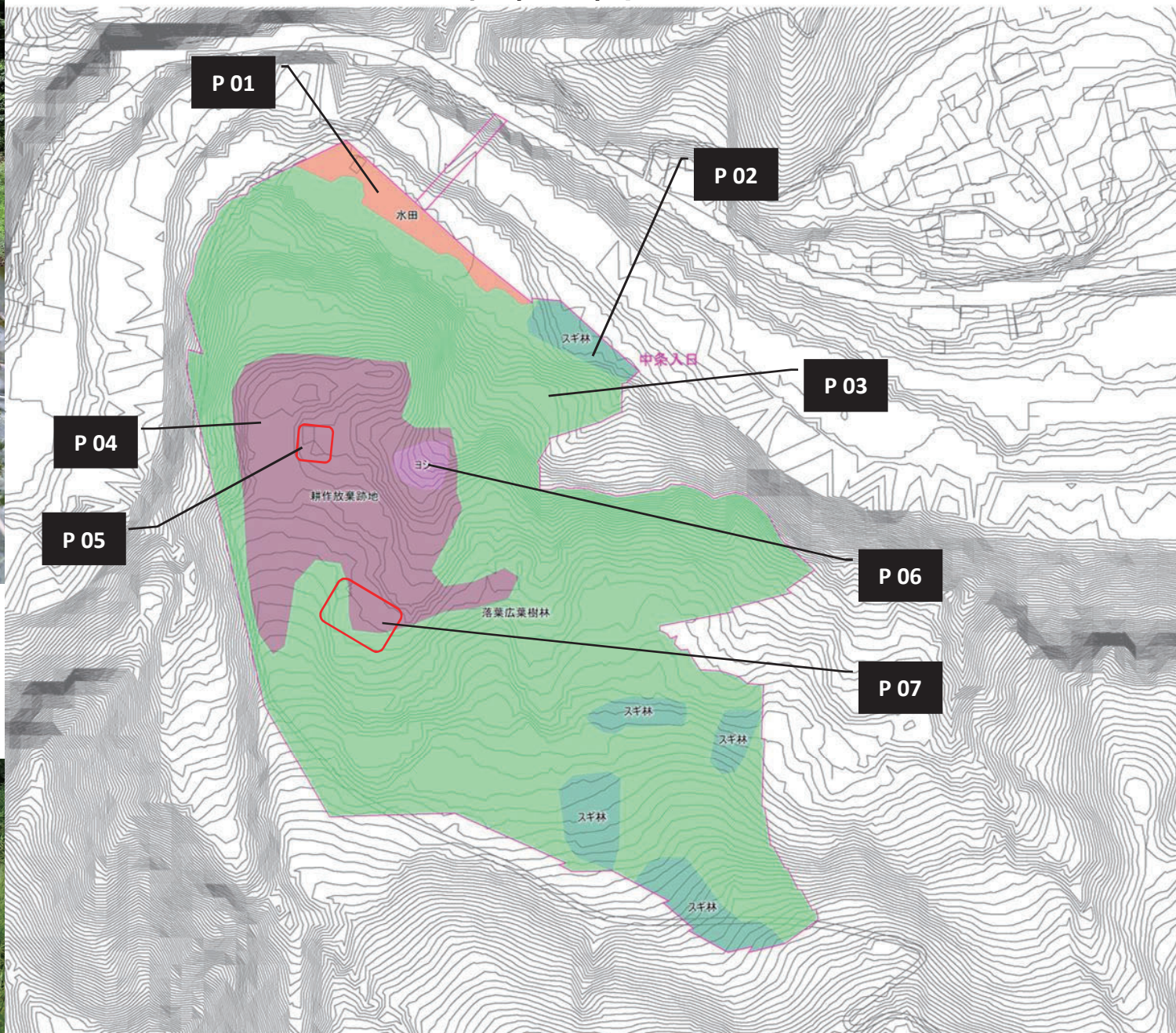
[P 01] 土尻川沿いの平坦地には水田がある。水田には、トウキョウダルマガエル(両生類/環境省RL:準絶滅危惧種、長野県RDB:絶滅危惧Ⅱ類)やコオイムシ(昆虫類/環境省RL:準絶滅危惧種)、シヤジクモの一種(藻類/環境省:絶滅危惧Ⅱ類(シヤジクモの場合))が確認された。



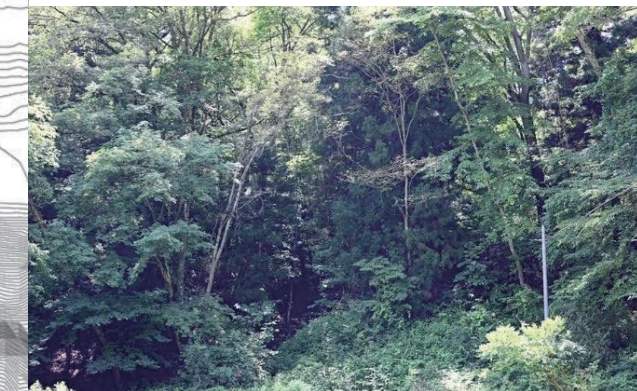
[P 04] 斜面上部には耕作跡地と考えられる草地在り、ススキやセイタカアワダチソウなどが生育していた。



[P 05] 耕作放棄地の一部では、かつてのため池跡と考えられる湿地や水たまりが確認された。長野県RDB:留意種(キベリクロヒメゲンゴロウの場合))が確認された。



[P 02] 耕作地から一段下がった平坦地となっており、スギが植栽されている。斜面部から水が流入しており、林床は湿地となっていた。



[P 03] 斜面下部は、コナラやケヤキ等からなる落葉広葉樹林となっていた。



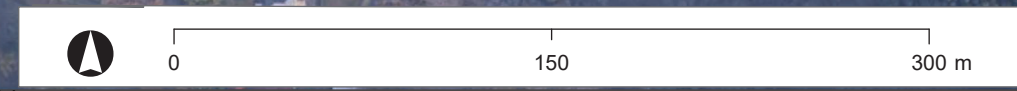
[P 06] 斜面上部の谷地形の箇所では、ヨシ群落の確認された。



[P 07] 斜面上部にはため池が確認された。ため池の周囲には、凹地となっており湿地となっている箇所が確認された。

評価項目		現地概要
希少動植物の確認状況	動物	トウキョウダルマガエル(環境省RL:準絶滅危惧種、長野県RDB:絶滅危惧Ⅱ類) コオイムシ(環境省RL:準絶滅危惧種) ゲンゴロウ科の一種(長野県RDB:留意種(キベリクロヒメゲンゴロウの場合))
	植物	シヤジクモ科の一種(環境省・長野県:絶滅危惧Ⅱ類(シヤジクモの場合))
	生息・生育環境	・水田は、希少な湿性植物や両生類の生息・生育地となっている。 ・平坦部の東端の湿地は湿性植物や両生類、水生昆虫などの生息・生育地となっている可能性がある。 ・斜面上部のため池跡は湿地を形成しており、水生昆虫の生息地となっている。
自然の改変度	・土尻川沿いの平坦地には水田がある。 ・斜面部は、コナラやケヤキ等からなる落葉広葉樹林(植生自然度7)となっている。 ・斜面上部は、耕作放棄地となっており、ススキやセイタカアワダチソウからなる草地となっている。	
留意点	・候補地内の水田や湿地では、希少な両生類や水生昆虫が確認されていることから、移殖や代替生息環境の創出等の環境保全措置が必要となる可能性がある。	

航空写真（長野市中条日高：入日）



撮影日：2004年

凡例
— 敷地範囲